

特定非営利活動法人国際社会人剣道クラブ 関東地区クラブ会報	
<h1 style="font-size: 2em;">交 剣 知 愛</h1> <p>第575(2021・令和3年5月号) 令和3年5月20日発行</p>	INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB
	会長 川瀬 能男
	事務局 幹事長 小川 徹
	IGKC ホームページアドレス <a href="http://www.-igkc.or.jp">http://www.-igkc.or.jp</a>

### 【会長挨拶】

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の期間が5月31日まで延長されたことに伴い、当月の月例会は中止することとしました。

緊急事態宣言等の解除に加え、剣道の稽古が待ち遠しい会員も多かろうと存じます。そこで、6月の月例会は近況に鑑み、浦安市総合体育館において2回計画しております。

会員の皆様が奮って参加されるのをお待ち申し上げます。

### 【事務局からのお知らせ】

#### 1 今後の月例会の予定

月 日	時 間	場 所
6月5日(土)	13:30~16:30	浦安市総合体育館第2武道場
6月19日(土)	13:30~16:30	浦安市総合体育館第2武道場
7月11日(日)	13:00~16:00	新宿区スポーツセンター武道場
8月29日(日)	13:00~16:00	新宿区スポーツセンター武道場

ただし、受入れ施設の態勢により中止、時間の変更又は参加人員に制限がある場合がありますので、予めご了承ください。

なお、細部については別途お知らせします。

#### 2 昇段審査結果速報

事務局まで連絡頂いた合格会員は次のとおりです。 **おめでとうございます!**

- ・7段: 稲田和幸、千々布敏弥 (4月30日 京都)
- ・6段: 濱田洋子 (4月29日 京都)

#### 3 2021年度会費納入者(令和3年4月28日~5月20日)

2021年度年会費を納入された方は次のとおりです。(敬称略)

赤坂修、安部壽和、池田慎也、石塚一夫、稲田和幸、沖田哲雄、向後昭雄、古賀東一郎、小林英文、コラサンティ・ロベルト、笹原正次、佐藤仁、菅澤利幸、白石武、照井寅雄、永井快昌、永田敬生、平井一成、平子允秀、水沼俊一

#### 4 2020年度会費納入のお願い

2020年度年会費未納の方は納入をお願いします。  
なお、振込手数料は会員各自にてご負担願います。  
振込銀行: ゆうちょ銀行

#### 5 理事(全国)の交代

5月3日の国際社会人剣道クラブ理事会において、菊池秀男会員が辞任し、  
羽鳥信一会員が常任理事に就任しました。  
なお、任期は1年です。

### 【交剣知愛】 (教士八段 安江正紀 先生 寄稿)

## 「パキスタンにおける剣道事情 ～ アザーンの街の侍達」

### 第五話「日本人より日本人らしいオランダ人侍、フランス人侍」

#### 1 稀有なる出会い

今回は、パキスタンで巡り合ったお二人の外国人侍にご登場いただきます。一人はオランダ人侍のアレックス氏、もう一人はフランス人侍のエマニュエル氏です。

お二人は、第二話にもちょっとだけご登場いただきましたが、在パキスタン日本国大使館が日パ国交樹立65周年記念行事として挙行した「日本文化祭」の会場で剣道演武をご覧になり剣道に大きな興味を持たれたことが、剣道修行の嚆矢となったのです。

まず、日本文化祭の直後にオランダ人侍とのご縁が繋がりました。彼はオランダ大使館の防衛駐在官であったのですが、当館の防衛駐在官を通じて剣道クラブの見学と入門の申し出がありました。

彼は軍事教練で鍛え上げた素晴らしい筋肉質の肉体を持ったターミネーターで、顔に豊富な髭蓄えた精悍な方でした。一見は厳つい雰囲気ですが、話すと笑顔が咲きあふれとても優しいジェントルマンです。

次は、フランス人侍が私に電話をかけてきました。フランス大使館勤務の彼は、本気で私と同じ警察官であったことで、以前から知っていたのですが、「マサ(私)の剣道を見た。自分は長く柔道を学んでおり、この機会に是非、剣道を学びたい」との申し出を受けたのです。彼は粋な革ジャンに身を包み、大型バイクを操るおしゃれなちょい悪パリジャンでした。

#### 2 独り稽古の重要性

この二人の異国の侍が実に誠実で礼儀正しく、日本が大好きで、本当に日本人より日本人らしいのです。

最初は私の木刀を貸して、作法や素振り等の稽古から始めましたが、とても熱心な取り組みで、私も驚くほどみるみると上達していきました。そして、自分で稽古着、防具、竹刀等の用具をインターネット販売で手に入れ、あっという間に侍が出来上がっていきました。

「好きこそものの上手なれ」との言葉どおり、二人は、剣道が大好きになり、週に1回の剣道クラブの稽古以外にも毎日熱心に独り稽古を繰り返していたのです。

また、YouTube等の映像を見て、どんどんイメージを膨らませていきました。改めて「独り稽古」の重要性を痛感した次第です。

私は、定期的に彼らの悪い癖を指摘し、独り稽古の方向性とポイントを伝えることとしました。そして、なんと二か月程で、二人とも「木刀による基本技稽古法」をほとんど習得し、防具をつけた稽古を始めることができたのです。

やはり、成人が剣道を始めた際の最も大きなチャレンジと言われている「打ち込み時の気剣体の一致」には少し苦勞をしていましたが、二人とも順調に上達していきました。

後から聞いて笑えたのは、二人とも自宅で奥様に面をつけさせて打ち込みの稽古をしたとのことでした。ここまでやる日本人はいませんよね。

### 3 お気に入りの垂名札(ゼッケン)

大使館剣道クラブは、館員に加え在留邦人の方々も次々と加入し、10人を超える大所帯となりました。稽古も前半1時間は木刀による基本稽古、後半1時間は防具をつけての稽古とし、とても充実したものとなりました。希望者を集め、居合道の稽古も始めました。

私は、クラブ員の一体感をさらに高めたいと思い、クラブ名を「巴(ともえ)剣友会」と改めました。「巴」の漢字はパキスタンを表すものです。

そして、オランダ人侍とフランス人侍にも垂名札を注文しました。アレックス氏は「吾楠」、エマニュエル氏は「恵真得」(次ページ写真)。

我ながら傑作だと思います。二人とも大喜びしてくれました。外国の方々には「漢字」が一種のデザインとしてとても人気がありますよね。東京の地下鉄で腕に「閉店」と刺青をしている外国人青年を見かけたことがあります。

### 4 そしてお別れ、交剣知愛

オランダ人侍は、無事に任期を終え、私より先に母国に戻ることになりました。

出国間際に奥様とご一緒に私の自宅にご招待し、剣道部メンバーと送別寿司パーティーをした際に、「剣道は絶対に一生続けます。昇段審査も受審したいし、試合にも参加します」と力強い言葉を残して旅立ちました。

※ 因みに我が家では、日本食に堪能なパキスタン人シェフを雇っており、イスラマバードではマリオットホテル内の日本食レストランより美味しいと評判だったんですよ。

そして、私が離任することとなり、フランス人侍ともお別れの日が来ました。

コロナ禍の影響もあり、後半は稽古を長く中止していましたが、彼は第三話でお話した忍者集団の「イスラマバード剣道連盟」の稽古に参加し剣道を継続しているとのことです。

パキスタンの地で、日本人とオランダ人、フランス人が同じ思いで稽古を行うことができたことは、私の拙い剣道人生の中でキラキラと輝く素晴らしい経験でした。

二人とは定期的に連絡をとっています。必ずや再度、剣を交えることができると確信しています。

「剣の理法の修練による人間形成の道」には国籍や言語の違いは存在せず、真っ新な清々しい直心のみがありました。まさしく「交剣知愛」の出会いを頂きました。



巴剣友会の素敵な面々。前列左から二人目がオランダ人侍



フランス人侍の雄姿